

事務事業評価シート 平成 29 年度事後評価・決算

平成 31 年 2 月 21 日時点

事務事業名		コード	4300	コミュニティ育成事業	予算科目	会計	款	項	目	事業種別
①		(地区集会施設建設・修繕事業) (一般コミュニティ助成事業)			一般	2	1	10		☒ 主な事業 ☒ 国土強靱化地域計画 ☒ 新市建設計画 ☐ 定住自立圏構想 ☐ 主要事業
施策体系	基本施策	24	協働の促進	根拠法令	旭市コミュニティ育成事業補助金交付要綱他					
	施策の展開	46	コミュニティ活動の推進	戦略事業	217 地区集会施設建設・修繕事業					
	施策の展開			戦略事業	218 一般コミュニティ助成事業					

(1) 事務事業の概要

① 事務事業の期間		② 事務事業の内容 ※何をどのようにする事務事業なのか、市民が理解できるよう記述する、行政用語は使わない	
☒ 単年度繰返 ☒ 平成 17 年度～ ☐ 開始年度不詳 ☐ 期間限定複数年度 平成 年度～ 平成 年度まで		・市内の地域団体にに対し、その団体が自主的に行うコミュニティ育成事業について補助を行う。 【地区集会施設建設・修繕事業】地区集会所の建設・修繕について経費の一部を補助する。 (建設:補助率6/10、限度額700万円、修繕:補助率1/2、限度額200万円) 【一般コミュニティ助成事業】コミュニティ活動に必要な備品(祭用備品)の購入について補助を行う。(限度額250万円)※宝くじ普及 広報事業に採択されなければ助成しない。	
③ 事務事業開始の経緯・事務事業の現状		④ 事務事業に関する課題・環境の変化	⑤ 事務事業に対する住民からの意見等
・地域の連帯感の向上を図るため、コミュニティ活動に必要な集会所や祭用備品等の整備・修繕に要する経費の補助を行う事業。		・住民の減少により、地域活動が困難になっている地区も増えてきている。 ・一般コミュニティ助成事業は、1年度1事業の助成のため要望団体はかなり先まで待っている状況である。	・事前申請のない事業を実施した場合も、事後申請で補助金をもらえると良い。また、現在対象外の経費(量の張替等)についても、補助対象にできないか。 ・区の負担が少なく、祭用具の購入ができた。

(2) コスト・特定財源の状況

① 事業費の詳細(29年度の決算)	単位:千円	26年度(決算)	27年度(決算)	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(予算)
1.負担金補助及び交付金	9,840	3,100	1,410	3,670	9,840	8,300
2.一般コミュニティ助成事業	2,000	2,500	0	2,500	2,000	2,500
3.地区行事用備品購入事業	0	0	0	0	0	0
② 特定財源の内訳(29年度の決算)	単位:千円					
1.国庫支出金	0					
2.都道府県支出金	0					
3.地方債	0					
4.その他	11,840	5,600	1,410	6,170	11,840	10,800
地域振興基金繰入金、自治総合センターコミュニティ助成金						
事業費計(A)		5,600	1,410	6,170	11,840	10,800
1.国庫支出金						
2.都道府県支出金						
3.地方債						
4.その他		5,600	1,410	6,170	11,840	10,800
5.一般財源		0	0	0	0	0
前年度増減理由		修繕事業は減少したが建設事業が増えたため。(修繕7→5 建設0→1)				
従事職員数		常時	1人	最大	人	日 = 延べ 0人

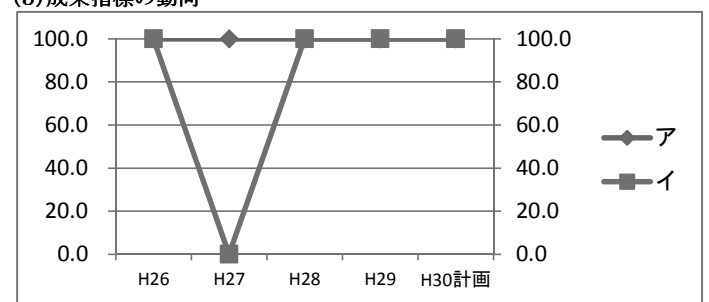
(3) 事務事業の手段・目的と対応する指標

手段	① 主な活動	③ 活動指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
手段	29年度実績(29年度に行った主な活動) 地区集会施設修繕 5区 地区集会所建設 1区 補助申請の受付・審査・交付決定・確認等の事務。 宝くじ助成事業については、申請書作成・ヒアリング等の対応。	ア 建設修繕事業補助団体数	団体	7	4	7	6	2
		イ 宝くじ助成事業補助団体数	団体	1	0	1	1	1
目的	② 対象・意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標名	単位	26年度(実績)	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(計画)
目的	対象意図 市内の地域団体(区、自治会) 地域の連帯感の向上とコミュニティ活動の促進	ア 要望に対する建設修繕補助交付率 (補助団体数/補助要望団体数×100)	%	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
	対象意図	イ 宝くじ事業採択率 (事業採択数/事業申請数×100)	%	100.0	0.0	100.0	100.0	100.0

(4) 事務事業優先度評価の結果

① 成果優先度評価結果		成果向上余地		
施策貢献度	大きい			
	普通			⑦
	小さい			
② コスト削減優先度評価結果		コスト比率		
評価結果	①	下位 1/3	中位 1/3	上位 1/3
	②			
	③			
	④⑤			
	⑥			
	⑦⑧	(7)		
	⑨			

(5) 成果指標の動向



(6) 事務事業に関する評価

評価内容	① 進捗状況	② 成果の状況	③ 今年度取組事項
評価内容	【コメント】 (停滞・未実施・実施困難の場合、その理由)	成果指標ア 成果指標イ 成果指標のタイプ	時期 内容
	完了 ☐ 順調 ☐ 概ね順調 ☒ 停滞 ☐ 実施困難 ☐	数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 ☐ 数値増＝成果向上 ☐ 向上 ☒ 横ばい ☐ 低下 ☐	今後の方向性
	【コメント】 (低下の場合、その理由)	比較 ア 25年度 26年度 27年度 28年度 29年度 26年度 27年度 28年度 29年度 30計画	現状維持 ☒ 見直し ☐ 廃止・休止 ☐ その他()
今年度取組事項 (30年度に取り組む主な事項について記載)		例年どおり実施	